

令和 4年度予算見積調書

課室名：共助社会づくり課

担当名：担い手支援担当

内線：2838

(単位：千円)

番号	事業名			会計	款	項	目	説明事業		
B15	共助の担い手養成事業費			一般会計	総務費	県民費	県民活動推進費	共助による地域のきずなづくり推進費		
事業期間	令和元年度～	根拠法令	なし			針路	08	支え合い魅力あふれる地域社会の構築	SDGsゴール	17
	令和 4年度			分野施策	0806	多様な主体による地域社会づくり	SDGsターゲット	17-17		
1 事業概要 県民の地域社会活動への関心を高め、地域社会を共に支える共助の担い手を育成・確保する。 (1) 共助の担い手養成事業 1,734千円				5 事業説明 (1) 事業内容 ア 地域住民の地域社会活動への参加支援 1,210千円 地域振興センター・事務所をハブとして、市町村や市民活動サポートセンター等地域の関係機関と連携し、地域住民の地域社会活動への参加を支援する機会を創出する。 イ 若者の地域社会活動への参加促進 524千円 共助コバトン地域応援団を若い世代で編成し、SDGsの視点を取り入れた地域社会活動について考え、体験できる機会にするとともに、その活動を発信することで、若者に対する地域社会活動参加への啓発を行う。 (2) 事業計画 ア 地域住民の地域社会活動への参加支援 各地域振興センター・事務所においてセミナー・交流会を開催 イ 若者の地域社会活動への参加促進 共助コバトン地域応援団による活動 (3) 事業効果 ・各地域の実情に合わせた事業を展開することで、地域に根差した共助の担い手を養成することができる。また、市町村や市民活動サポートセンター等地域の関係機関と連携し、地域社会活動の場を提供することで、具体的な活動へつなげる。 ・共助コバトン地域応援団の活動を通して実際に地域社会活動を体験することで、地域社会活動を身近に感じ、活動後の積極的な参加へとつなげる。また、活動をSNSやHPで発信することで、若者層への地域社会活動への関心を広げ、若い担い手を増やすきっかけとする。 ・地域社会活動に参加する県民が増えることによって、地域住民が共に支え合う共助の取組が広がり、地域が活性化される。 (4) 前年度との変更点 共助SDGs推進事業と統合し、業務の見直し・組み換えを行った。 令和3年度 共助SDGs推進事業 1,481千円						
2 事業主体及び負担区分 (県10/10)										
3 地方財政措置の状況 なし										
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員 9,500千円×1人=9,500千円										
予算額		財源内訳						一般財源	前年との対比	
決定額	1,734							1,734	△29	
前年額	1,763							1,763		